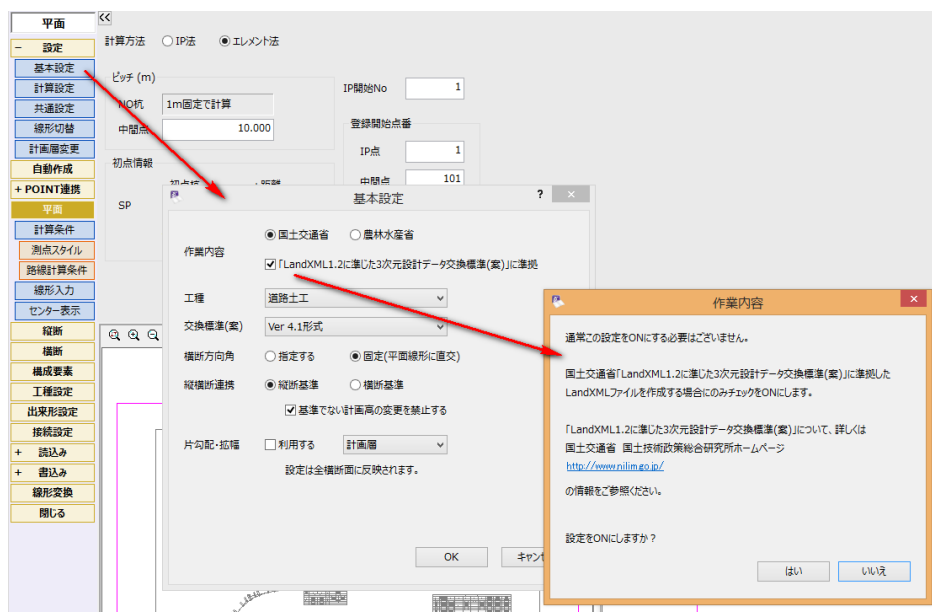


LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案）に沿った作成手順

- ソフトウェアとバージョン : EX-TREND 武蔵 建設 CAD Ver.19
(3次元設計データ作成オプション)
- OCF 検定認証番号 : 17118070198

- ① メニューバーより、測量計算-3次元設計データ作成オプションを開き、基本設定を編集
※「LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案）に準拠」チェック ON



- ② メニューバーより、測量計算-座標入力にて、始終点、主要点など平面線形を構成する座標を登録

No.	点名	X座標	Y座標	Z座標
1	BP	-2010.000000	10.000000	
2	IP.2	-2004.548000	59.077000	
3	IP.3	-1912.763000	133.657000	
4	IP.4	-1887.636000	245.096000	
5	IP.5	-1797.444000	345.963000	
6	IP.6	-1674.344000	409.991000	
7	EP	-1719.432000	594.422000	
8	BC.2	-2008.620000	22.424000	
9	EC.2	-1975.926646	82.332565	

- ③ 左側のガイドバー「平面」ステージにて、計算条件を設定



- ④ 左側のガイドバー「平面」ステージにて、平面線形要素を入力（J-LandXML 読み込み時は確認）

No.	IPNo	IP番号	IP点名	主要点番号	主要点点名	X座標	Y座標	タイプ	カーブ	R1	R2	A
1		1 BP		1 BP		-2010.000000	10.000000	BP点				
2				8 BC.2		-2008.620000	22.424000	直線				
3		2 IP.2		9 EC.2		-1975.926646	82.332565	単曲線	左	90.000		
4				10 KA.3-1		-1952.644000	101.252000	直線				
5	3	3 IP.3		11 KE.3-1		-1923.615133	128.643874	開始クロイド	右	90.000		60.000
6	3	3 IP.3		12 KE.3-2		-1913.095998	145.605999	単曲線	右	90.000		
7	3	3 IP.3		13 KAKA.4		-1901.461000	183.785000	終了クロイド	右		90.000	60.000
8	4	4 IP.4		14 KE.4-1		-1891.051960	222.378147	開始クロイド	左	160.000		80.000
9	4	4 IP.4		15 KE.4-2		-1878.278035	249.474021	単曲線	左	160.000		
10	4	4 IP.4		16 KA.4-2		-1839.802000	298.592000	終了クロイド	左		160.000	100.000
11				17 KA.5-1		-1826.471000	313.501000	直線				
12	5	5 IP.5		18 KE.5-1		-1798.881277	341.287545	開始クロイド	左	125.000		70.000

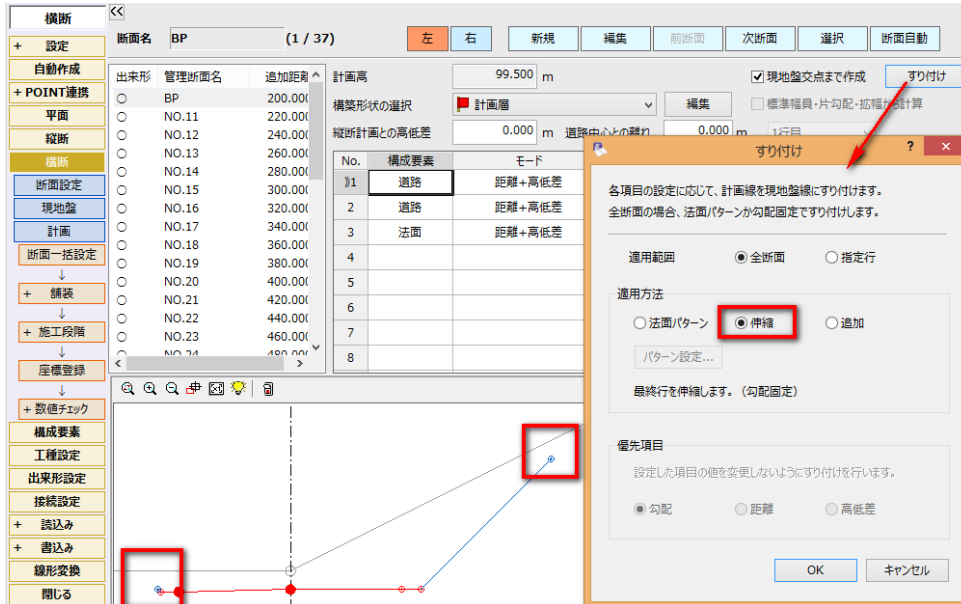
- ⑤ 左側のガイドバー「縦断」ステージにて、縦断線形要素を入力（J-LandXML 読み込み時は確認）

No.	測点名	+距離	追加距離	地盤高	計画高	前点からの勾配	V C L	R
1	BP		200.000		100.000			
2	NO.21		420.000		110.000	4.545	50.000	510.000
3			730.000		93.704	-5.257	60.000	517.000
4	NO.45		900.000		104.500	6.351	40.000	697.000
5			982.296		105.000	0.608		

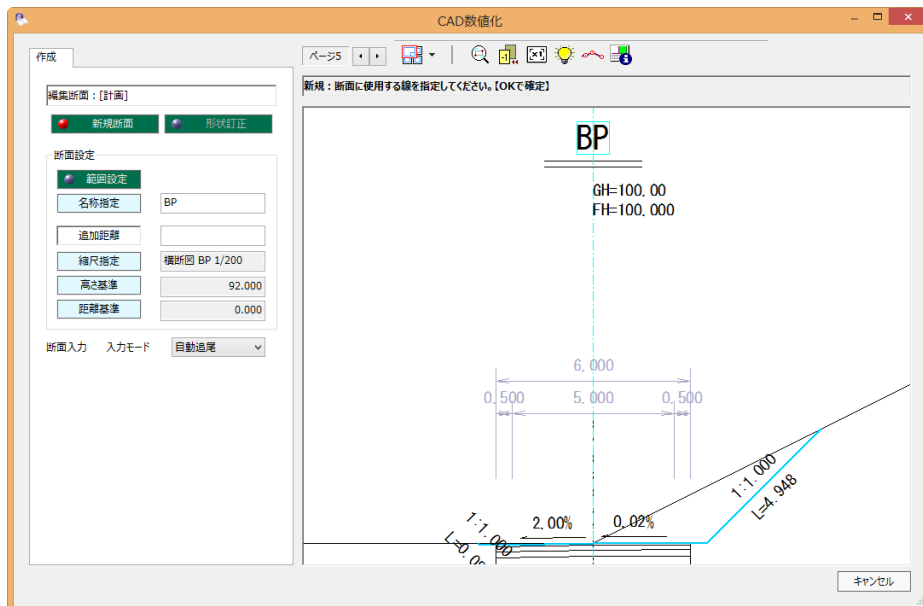
- ⑥ 左側のガイドバー「横断」ステージにて、横断形状要素を入力
 （J-LandXML 読み込み時は内容確認した上で、必要に応じて、編集作業を実施）

No.	構成要素	モード	比	n(%)	距離	高低差	CLからの離れ	標高
1	道路	距離+高低差	-50.000	-2.000	3.000	-0.060	3.000	99.940
2	道路	距離+高低差	0.000	0.000	0.500	0.000	3.500	99.940
3	法面	距離+高低差	1.000	100.000	0.060	0.060	3.560	100.000

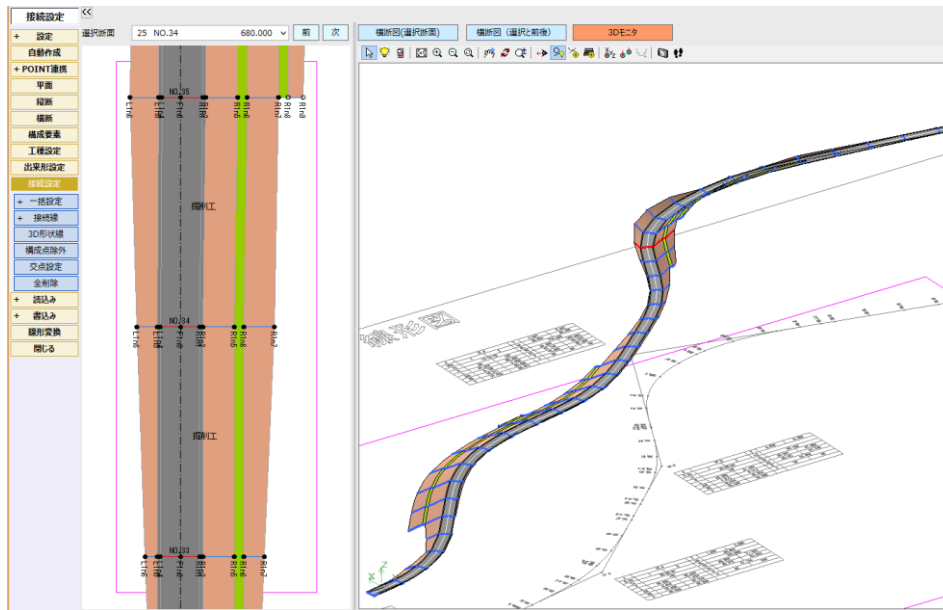
- ⑦ 編集作業の一例として、例えば、起工測量時の横断地盤線に計画をすり付けする場合
※横断現地盤線は、SIMA や点群処理ソフト「TREND-POINT」とのデータ連携で取得可能



- ⑧ 手順⑥の数値入力以外に、CAD 図面より横断形状要素を取得することも可能
※類似機能として、CAD 本体側の“横断設計照査/土工管理”コマンドでも対応可能



- ⑨ 縦断方向の接続状態を確認し、必要に応じて編集



⑩ LandXML 形式にて、ファイル出力

※「LandXML1.2 に準じた 3 次元設計データ交換標準（案）に準拠」チェック ON



⑪ 作業終了